図書紹介

Giovanni Solari 著 “Wind Science and Engineering Origins, Developments, Fundamentals and Advancements”

田村幸雄*
Yukio TAMURA

斯界の権威イタリア・ジェノバ大学 Giovanni Solari 教授の 40 年以上にわたる風工学研究の結晶であり、メッセージである。風工学に関する学術的研究成果と、その知的、文化的、科学的、工学的側面をこの一冊に集約し、芸術の域にまで高めることに成功している。興味深いのは、種々の科学的発見の裏に潜んでいる人間の物語が、本書の中で浮き彫りにされていることである。

本書は、パート I 起源「歴史の曙からルネサンスまで」、パート II 発展「ルネサンスから 19 世紀まで」、パート III 基礎「19 世紀末から 20 世紀半ばまで」、パート IV 進展「20 世紀半ばから第 3 千年紀」に別れており、全 11 章 949 頁からなる大著である。

著者は、人類の智慧が創造され、発展していく“プロセス”を遺し伝えることに、より強い感心があり、単に現在の歴史的一断面における最先端の知識を紹介するだけでは物足りなかったものと思われる。内容においても構成においても、実にユニークで類い希なる本と言えよう。

読者は、ミステリアスな時空連続体の旅にいざなわれ、数学、確率論、流体力学、構造工学、気象学等々が発展していく窓外の情景を、パノラマ的に楽しむことになる。判り易い図、写真、用語解説などが、随所にかつ豊富にちりばめられ、ただ単に走る列車に身を任せているだけで、いつの間にか、基礎から最先端の技術にいたる風工学の知識を、豊富に身につけられるからくりである。著者は、本書にそういう巧妙な仕掛けを施すことにより、全ての読者が風工学の醍醐味を満喫できるよう計らっている。

本書は、風工学の専門家から若い研究者や学生までの広い層にとって、紛れもなく有益な良著であるとともに、他分野の科学者、工学者を含めた一般の方々にも、一読の価値のある本と言える。

この“有益な良著”が、多くの方々に読まれ、愛され続けて、やがては風工学の“不朽の名著”と称せられることになるものと信じてやまない。

(2020 年 11 月 24 日夜記)

追記：Giovanni Solari 先生は 5 日前の 2020 年 11 月 19 日にご逝去された。享年 67 歳。黙祷。

* 重慶大学土木工程学院 教授 yukio@arch.t-kougei.ac.jp
Professor, School of Civil Engineering, Chongqing University